



## 指導ポイント&ヒント

### 第5課 「ぶんしょうだい①」

【指導内容】 ①ある数量を等分して一人分の数を求める文章題に慣れる。

【日本語】 ①等分する作業は同じだが、分ける「物」とその物を数える時に使う「数詞」や量を表す時に使う「単位」を変えて文章題を提示。

(例) 色紙→枚 鉛筆→本 リボン→cm

②「一人分」のほかに「1本の長さ」「1本分」という言い方を取り入れた。

【概念図】 ① 24枚の色紙を6人で等分する問題を言葉と式に表わし、九九を使って解く。

$$24 \div 6 = 4 \qquad 4 \times 6 = 24$$

使う九九が前課までで未出の「六の段」になっていることに注意する。  
分ける「物」とその「数え方」が変わったので図を使うなどの配慮が必要な子もいる。

② 21本の鉛筆を7人で等分する問題を言葉と式に表わし、九九を使って解く。

③ 20cmのリボンを5人で等分する問題を言葉と式に表わし、九九を使って解く。

※教科書では「20cmのリボンを5本に分けると、1本の長さは何cmか」という問い方をしているが、このような問い方だとリボンを受け取る「人」がいなくなるため、場面を把握しにくい子どもがいる。そこで、本文では「一人分は何cmか」という言い方にするとともに、図でも「人」の顔を入れた。

④ 25cmのリボンを5人で等分する問題を言葉と式に表わし、九九を使って解く。

※「一人分は何cmか」という聞き方から「1本の長さは何cmか」という問い方に変え、さらに、30cmのリボンを5人で分ける場面の問題を付け加え、そこで初めて「1本分は何cmか」という聞き方を提示した。

【配慮事項】 ※印に示したような配慮が重要。



5課  
ようごとぶん

Unidad 5  
Palabra y Frase

ようご	Palabra
いろがみ	papel de colores
まい	sufijo usado para contar objetos planos y delgados como el papel
ほん、ぼん、ぼん	sufijo usado para contar objetos largos y finos como lápiz (“bon” o “pon” son las variaciones de “hon”.)
えんぴつ	lápiz
ながさ	longitud

ぶん	Frase
ひとりぶんは □まいになります。	Cada persona se queda con □ papeles.
ひとりぶんは □ぼんになります。	Cada persona se queda con □ lápices.
1ぼんの(リボンの)ながさは □cmになります。	Cada pedazo de cinta tiene □ cm de longitud.

(注) 塗り潰し部分は「ものの数え方」に関する日本語です。



5

## ぶんしょうだい①

「一人分の数」を求める割り算④

1

分ける物を紙に変えた問題を六の段の九九を使って解く。

★ つぎの ぶんを しきに なおしましょう。

24まいの いろがみを 6にんで おなじかずずつ わけると、  
ひとりぶんは □まいに なります。

24まい

わけます

6にんで

ひとりぶんは □まい

÷

=

★ つぎの しきをみて こたえをかきましょう。

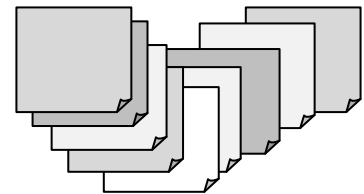
$$24 \div 6 = \square \quad | \quad \square \times 6 = 24$$



① つぎの ぶんを しきに なおしましょう。

30まいの いろがみを 6にんで おなじかずずつ わけると、  
ひとりぶんは □まいに なります。

$$\square \div \square = \square$$



② このわりざんを 6のだんの九九をつかって ときましょう。

$$\square \div \square = \square \quad | \quad \square \times \square = \square$$

2

★ つぎの ぶんを しきに なおしましょう。

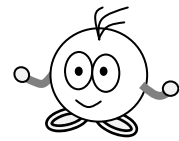
21ぼんの えんぴつを 7にんで おなじかずずつ わけると、  
ひとりぶんは □ぼんになります。

21ぼん わけます 7にんで ひとりぶんは □ぼん

□ ÷ □ = □

★ つぎの しきをみて こたえをかきましょう。

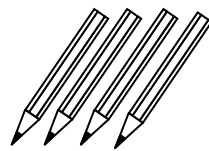
21 ÷ 7 = □ | □ × 7 = 21



① つぎの ぶんを しきに なおしましょう。

28ぼんの えんぴつを 7にんで おなじかずずつ わけると、  
ひとりぶんは □ぼんになります。

□ ÷ □ = □



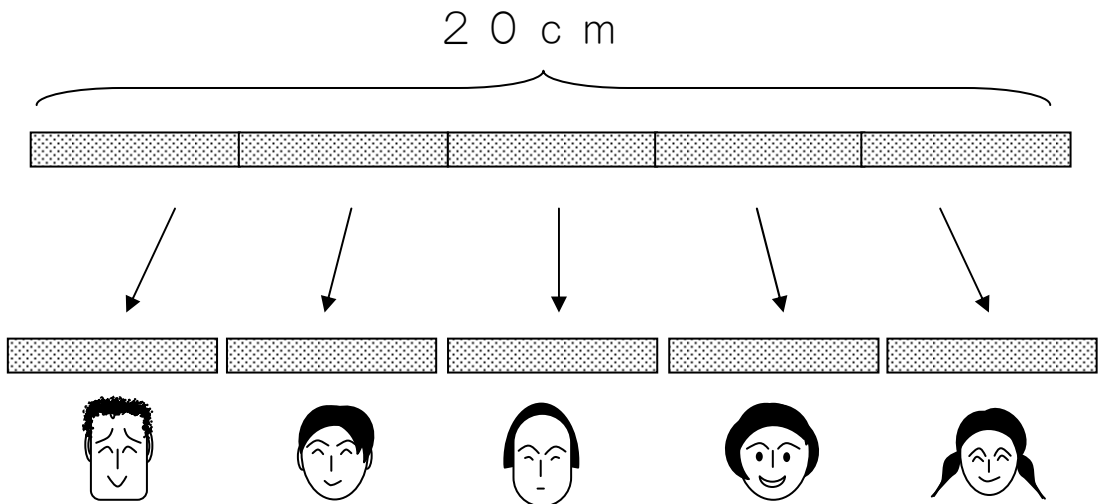
② このわりざんを 7のだんの 九九をつかって ときましょう。

□ ÷ □ = □ | □ × □ = □

3

★ つぎの ぶんを しきに なおしましょう。

20 cm の リボンを 5 にんで おなじながさに わけると、  
ひとりぶんは  cm になります。



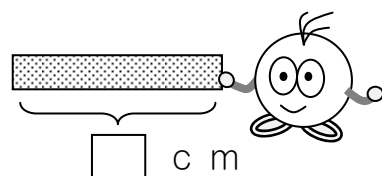
20 cm	わけます	5 にんで	ひとりぶんは <input type="text"/> cm
	÷		=

★ つぎの しきをみて こたえをかきましょう。

$$20 \div 5 = \boxed{\phantom{00}} \quad | \quad \boxed{\phantom{00}} \times 5 = 20$$

A number line is drawn above the equation. It starts at 0 and has arrows at both ends. A vertical tick mark is placed at 5. A bracket above the line from 0 to 5 is labeled "5". Another bracket above the line from 0 to 20 is labeled "20". Arrows point from the "5" bracket to the first empty box in the equation, and from the "20" bracket to the second empty box.

これがひとりぶんで、 cm です。

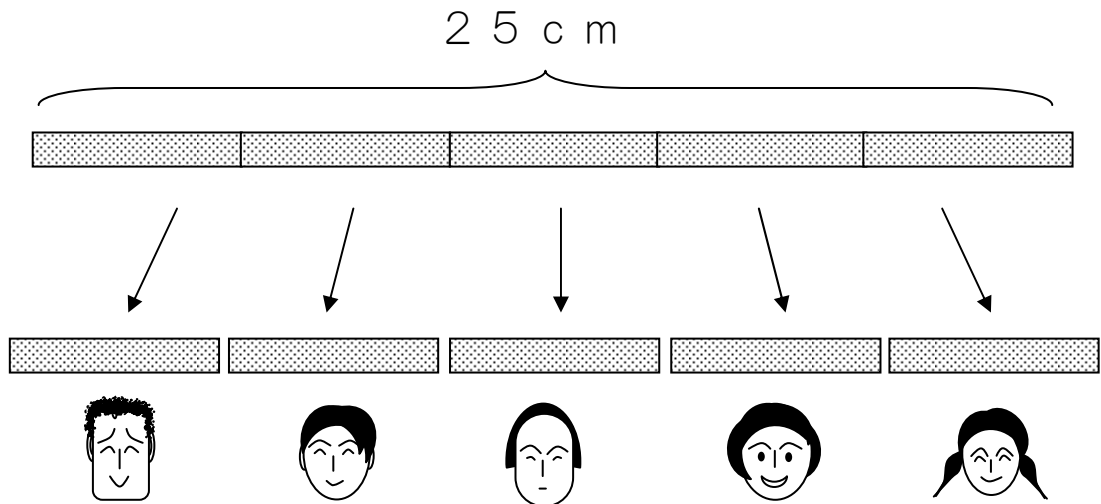


4

★ つぎの ぶんを しきに なおしましょう。

25 cm の リボンを 5 に んで おなじながさに わけると、

1 ぽんの ながさは  cm になります。



25 cm わけます 5 に んで 1 ぽんの ながさは  cm

÷  =

★ つぎの しきを みて、こたえを かきましょう。

25 ÷ 5 =  |  × 5 = 25

The diagram shows the relationship between division and multiplication. It features the equation 25 ÷ 5 =  followed by a vertical bar and  × 5 = 25. Lines connect the '5' in the first equation to the '5' in the second, and the  in the first to the  in the second, illustrating that the result of the division is the number that, when multiplied by 5, gives 25.



① 30 cm の リボンを 5 に んで おなじながさに わけると、

1 ぽんぶんは なん cm になるでしょうか。